

新春 寄席 2023



長嶺地域
コミュニティ協議会だより



3年ぶりの「新春寄席」

体育文化部長 宮田純一

新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされていた「新春寄席」。2月19日に3年ぶりの開催となりました。当日はあいにくの雨模様でしたが、27人の方から参加していただきました。



今回の出し物は落語とけん玉。最初は「とやの落語会」のお二人による落語です。かがやき亭姫子さんは、与太郎が親父の言いつけで知り合いの新築の家をほめに行く話を、また、満席亭・com(ドットコム)さんは経営の傾いた病院がカラオケ科という診療科目を作って、待合室の患者も巻き込んで盛り上がる話を、それぞれ臨場感たっぷりに演じて、聴衆は笑いの渦に巻き込まれていました。

お二人の落語で
聴衆は笑いの渦に



汗だくになって
けん玉に挑戦

後半は、結城彰さんの指導によるけん玉です。結城さんは元小学校の校長先生で、日本けん玉道4段の腕前。最初に基本の技を見せていただき、そのあと参加者全員で技の習得練習です。皆さん汗だくになって挑戦し、課題の技をクリアする方も大勢いました。先生からは「この会場は皆さん上手」とお褒めの言葉をいただきました。校長先生時代は、けん玉の持つ力を教育に活用できないかと考え、子どもたちに校長室を解放していただいていたと伺いました。その様子は先生の著書「けん玉校長と子どもたち」に詳述してあります。興味のある方はご一読を。



本日のけん玉の先生
結城彰さんの著書

「けん玉校長と子どもたち」



発行日：令和5年3月12日
発行責任者：会長 水本直弥
文：体育文化部長 宮田純一 編集・発行：広報部 大竹透
この広報誌は新潟市地域活動補助金を受けて発行しました。



<https://minekomi.sakura.ne.jp>